

○経済産業大臣表彰

<受賞者名>

シーオス株式会社、大塚倉庫株式会社、セイノーホールディングス株式会社

<功績概要>

発・着荷主および運送業者がスマホで簡易にアクセスし、荷卸時刻の予約・変更ができるトラックパース予約の仕組みを導入。事前予約により、ドライバーと倉庫内作業者が計画的に作業を行うことが可能となった。

<効果>

トラック待機時間を削減することにより、CO2 排出量を削減し、ドライバーの生産性も向上
荷卸作業を事前に計画できることにより、庫内作業による労働生産性も向上

○経済産業省商務・サービス審議官表彰

<受賞者名>

株式会社ラルズ、株式会社シジシージャパン、日本貨物鉄道株式会社、全国通運株式会社

<功績概要>

農作物の輸送に関し、小売、卸、運送業者が一体となって物流網の「見える化」を図る。輸送手段についてはモーダルシフトを推進しながら、小売(着荷主)側が決定する。

<効果>

トラック輸送を鉄道輸送に切り替えることにより、CO2 排出量を削減
業界の商慣習を改善

○グリーン物流パートナーシップ会議特別賞

<受賞者名>

株式会社アダストリア、株式会社アダストリア・ロジスティクス、東芝テック株式会社、ナクシス株式会社

<功績概要>

概要 海外工場にて製品に電子タグを取付け、最終検査工程で合格品数の情報を自動的に日本側と共有する。日本側はこの情報を受け、納品先店舗情報を海外工場に送り、海外にて店舗毎の仕分けを行う。これにより、日本側で予め各店舗への最適な輸出ルートを選択することが可能となった。

<効果>

納品先店舗の最寄港に輸送することにより、CO2 排出量を削減
国内物流センターで入荷時に電子タグを一括読み取りすることにより、検品作業負荷を削減